



この夏、出会った本の感想を残してみませんか・・・？

どくしょかんそうぶん 読書感想文 コンクールについて

読書感想文のコンクールは、大きく分けて2つあります。

校内締め切り
9月2日(月)

① 第70回青少年読書感想文全国コンクール

課題読書部門・・・主催者の指定した図書を読み、感想文を書きます。

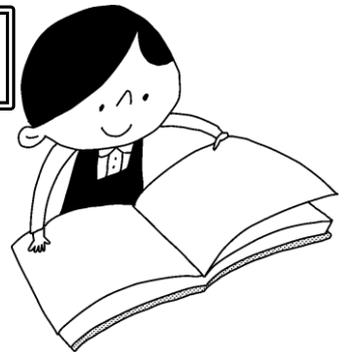
自由読書部門・・・自由に選んだ図書を読み、感想文を書きます。

② 第48回千葉県課題図書 小・中児童生徒読書感想文コンクール

指定の課題図書を読み、感想文を書きます。

コンクール	第69回青少年読書感想文 全国コンクール	第47回千葉県課題図書 読書感想文コンクール
主催	毎日新聞社	千葉日報社
書き方	原稿用紙（大きさ・字詰め指定なし） 1・2年生（本文800字以内） 3～6年生（本文1200字以内）	400字詰め原稿用紙3枚以内
注意すること	<p>① 句読点は、1字に数える。</p> <p>② 用紙の1行目から本文を書き始める。</p> <p>③ 題名・学年・性別は1枚目欄外に書き、書名・著者名・出版社名を最後のページの欄外(下側)に書く。</p> <p>④ 応募票に必要事項を記入し、作品の右上にクリップでとめる。</p> <p>(原稿用紙には、校名・氏名は書かない。)</p>	<p>① 最初の2行に題名・学校名・学年・氏名を書く。</p> <p>② 用紙の3行目から、本文を書き始める。</p>

応募票なし



※読書感想文の書き方及び応募票は配付しません。屋敷小学校HPに掲載します。応募票は
お家の人に印刷してもらって、おうちで貼ってきましょう。

課題図書について

	全国	千葉県
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○アザラシのアニュー ○ごめんねでてこい ○おちびさんじゃないよ ○どうやってできるの？チョコレート 	<ul style="list-style-type: none"> ○かえでちゃんとひみつのノート ○いえ あるひ せんそうが はじまった ○名なしのこねこ ○ねこぜ山どうぶつ園 ○フルーツふれんずももちちゃん ○ランカ にほんにやってきたおんなのこ
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○いつかの約束1945 ○じゅげむの夏 ○さようならプラスチック・ストロー ○聞いて聞いて！音と耳の話 	<ul style="list-style-type: none"> ○あるヘラジカの物語 ○AIロボット、ひと月貸します！ ○角が曲がったみつき二号 ○ドロップイン！ ○ハッピー・クローバー！ ○ももちちゃんのピアノ
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ぼくはうそをついた ○ドアのむこうの国へのパスポート ○図書館がくれた宝物 ○海よ光れ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○エール！主人公なぼくら ○科学でナゾとき！ やまんばの屋敷事件 ○カタリン・カリコ mRNAワクチンを生んだ科学者 ○ここではない、どこか遠くへ ○ラベンダーとソプラノ



3・11被災者を励ました学校新聞

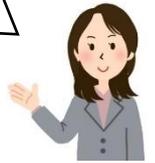


読書感想文にチャレンジ

本を読むと、主人公や筆者(書いた人)の気持ちが伝わってきたり、日常の生活では経験できない体験ができていたりして、ドキドキしたり、ワクワクしたり「そうそう。」とうなずいてみたり、「へえ。」とおどろいたり、じーんときたり、心が動かされたりしたことはありませんか。考えさせられたことはありませんか。

読書から得た感動や喜びを自分の言葉で感想文にして書いてみましょう。書くことによって、ぼんやりしていたことがはっきり見えてきます。そして、自分の心が成長に向かって歩き出していることを確かめることができます。

さあ、読書感想文にチャレンジしてみましょう。



1 本を選びましょう

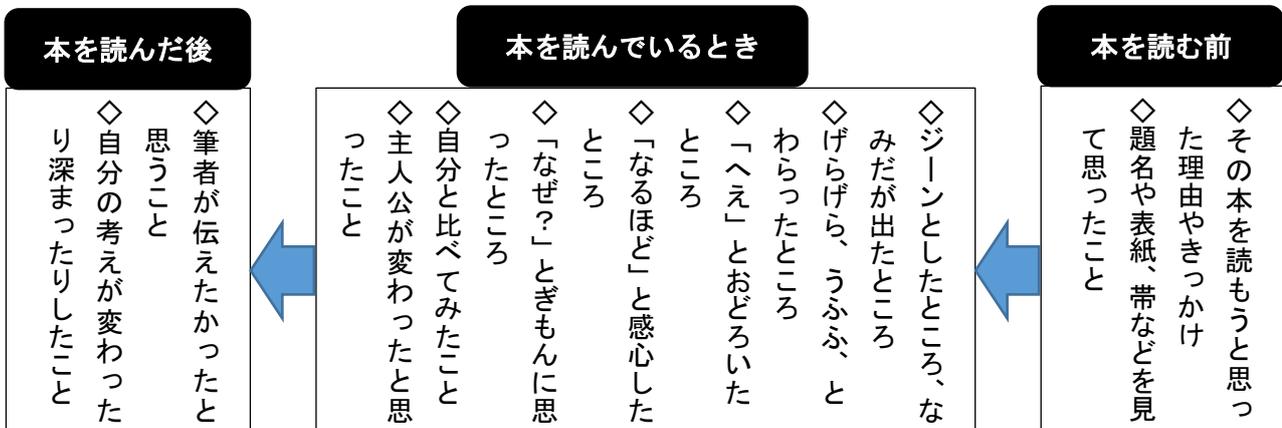
題名や本の帯、あとがきなどを参考にして、読みたい本を選びましょう。大きな感動が得られそうなもの、これまでに出会ったことのないものなどに挑戦してみるのもいいですね。また、1回読んだことのある本でも、あらためて読み返すとちがう感じ方をすることもかもしれません。

そして、読書感想文コンクールには、課題図書があります。課題図書の中から選ぶのもいいですね。

2 本を読みましょう

感想文を書くために、「心にひびくこと」を考えながら読みましょう。

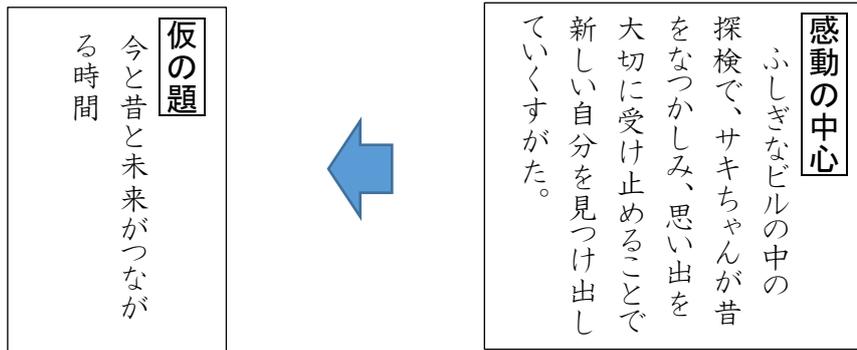
あとから、どの場面でどのような考えや思いがうかんだのかが分かるように、ふせん紙などをそのページにはって、目印をつけておくとよいですね。



3 書きたい中心（一番の感動）をはっきりさせ、仮の題をつけてみましょう

本を読んで一番感動したことは何かをはっきりさせます。これが、感想文の中心となる軸です。そして、感動が伝わるような題をつけておきます。この題は、あとで考えなおして変えていくので、少し長くてもかまいません。

(例)



4 書く材料を選びましょう

2で、読みながら本にはったふせん紙に、かんたんに自分の思いをメモしてみましょう。そして、それらを1まいの大きな紙にはりかえてみましょう。

次に、3ではっきりさせた自分の「書きたい中心」が読む人に伝わるように、ふせんの順序を考えます。この時、同じものをまとめたり、いらぬものを外したり、足りない内容をつけ足したりして、ふせん紙を整理します。

(例) 本の題名「わたしたちの帽子」 高樓方子作

階段の手すり や柱のひみつ を書いたメモ の話は、まさ かとドキドキ した。	おばあちゃんに 聞いた庭のツ バキの思い出 は、なみだが 出そう。	
<input type="checkbox"/> 同じものをまとめる	<input type="checkbox"/> いらぬものを外す		
<input type="checkbox"/> 足りない内容をつけ足す	<input type="checkbox"/> 書く順番を考える		

<書く材料のヒント>

①心にひびいた人物の行動や会話の引用

②想像した人物のすがた、声、人がら、気持ちなど

③想像したまわりのけしき、情景など

④自分の経験と重ねて考えたり、感じたりしたこと

- ・自分にも同じような体験がないか
- ・本を読んで、実際に実験したり観察したりまねしたりしたらどうだったか
- ・自分が主人公だったらどうするか
- ・自分のまわりに、にたような人やできごとがなかったか

⑤筆者が一番伝えたいと思うこと

- 例・筆者は、この場面では、きっと～のことを伝えたいのだと思います。
- ・筆者は、～だと思ったから、～のような書き方をしたのだと思います。
 - ・人物の～の行動や「～」という会話に筆者の考えが表れているのだと思います。

⑥優れている表現などについて思ったこと

- 例・「～」という言葉が何回もくり返されていて、強く心に残りました。
- ・まるで～のように感じる表現に、自分もそこに立っているような気がしました。

⑦はじめに自分が思っていたこと、考えていたことと比べたこと

- 例・～について、最初は、～と書いていたのですが、～と思うようになりました。
- ・～について、最初は、～と書いていたのですが、ますます～と思うようになりました。

⑧題名について考えたこと

- 例・どうしてこのような題をつけたのか分かりました。それは、～。

⑨本から学んだこと

- 例・わたしは、この本を読んで、～することの大切さを学びました。
- ・この本に出会えたことで、～が変わりました。

⑩これからの自分の生き方に生かしたいこと

- 例・わたしも～のように～していきたいと思います。
- ・未来へとつながる～を生かしていきたいと考えます。

5 構成（文の組み立て）を考え、題を決定しましょう

決められた字数を頭の中におきながら、どのような流れで感想文を書くか、文の組み立てを考えましょう。「組み立て表」を作るといいと思います。順序は、本に書かれている順序でなくてかまいません。読み手をひきつけるために、順序を逆転させたり、自分の体験から書き出したり、さまざまに工夫をしましょう。そして、伝えたい中心が分り、読み手をひきつけられるような題を考えてみましょう。

組み立て表の例

(書きたい中心) ふしぎなビルの中の探検で、サキちゃんが昔をなつかしみ、 思い出を大切に受け止めることで、新しい自分を見つけ出して くすがた				題 つながる時間 本の題名「わたしたちの帽子」
おわり	な	か	はじめ	
・	・	・	・大きな迷路に入っ たときの気持ち	何について
		・階段の手すりの 柱にあったひみつの メモについて考えた こと	・自分がもし大きな迷 路に入ったらどんな 気持ちになるのか。	内容

○題のつけ方と結びの文

読書感想文の題は、自分の書いた感想文をひとことで表す大切なものです。読み手をひきつけ、題からどんな感想文なのかが伝わるように工夫しましょう。

結びの文ですが、感想文の中には、立派なまとめの言葉でしめくくっているものもあります。しかし、時には言葉だけが独り歩きして、自分の思いが伝わっていかないおそれもあります。本を読んで、自分の考えが変わったことや思ったことなどを、自然な形で、自分なりの言葉にしてしめくくってみましょう。

6 組み立て表をもとに、下書きを書いてみましょう

感想文を書くときに、大切なのは「書き出し」です。最初に何を書くかでなやむことも多いと思います。次をヒントに書き始めてみましょう。

- ①本の中の印象的な会話文を引用して書き始める
- ②本を読んで一番心に残った場面の文（文章）を引用して書き始める
- ③問いかけ（自分が疑問に思ったこと）から書き始める

「もし、言葉の分からない外国でくらすことになったら、わたしはどうするだろう」
「なぜ、〇〇は、～のような行動をとったのだろうか」

- ④本を読んだ（選んだ）きっかけから書き始める
- ⑤本を読んで考えたこと、思ったことから書き始める

7 書いた文章を読み、書き足したり直したりしましょう

自分が書いた文章を読み返して、書き足したり、直したりしてみましょう。次をヒントに読み返してみてください。

- ①自分の書きたい中心（一番の感動）が、読む人に伝わっているか
- ②本の内容を受けて、自分の考えたことが書かれているか
- ③意味のまとめ（はじめ なか おわり）や段落の区切りがはっきりしているか
- ④書き出しや結び、そのほかで言葉の使い方を工夫しているか
- ⑤まちがった言葉の使い方をしていたり、意味が伝わらない文になったりしていないか

8 原稿用紙に清書しましょう

正しい書き方で、原稿用紙に丁寧に清書しましょう。漢字などのまちがいがいがないかどうかにも注意しましょう。

○第70回青少年読書感想文全国コンクールの場合

- | | |
|----------|----------|
| 小学校低学年 | 800字以内 |
| 小学校中・高学年 | 1,200字以内 |
| 中学校 | 2,000字以内 |

※基本的には、最後の行まで書くこと。

※題名などは欄外に書き、原稿用紙の1行目から感想文を書き始めること。

第70回全国青少年読書感想文コンクール(千葉)応募票

支会番号		1 1		支会名		習志野 支会	
区分	小低・小中・小高・中学校			自由・課題			
感想文の題名							
所 属	(ふりがな) 学 校 名	(ちばけん 千葉県 郡 習志野 町村立 (やしきしょうがっこう) 屋敷小 学校					
	学校所在地	〒(275-0004) 習志野市屋敷2-1-1					
	電話番号	TEL: 047-476-4679					
	担当者名	(担当者名 岡本 亜紀子)					
応募者	応募区分・学年	小低・小中・小高・中学の部			第 学年		
	(ふりがな) 氏 名	()					男・女
対象図書	書 名						
	作者・著者						
	シリーズ名						
	発行所・発行年	発行所	発行年		年		
			初版発行年		年		
定価・大きさ ページ数	定価	円 (本体 円)		縦の長さ	ページ数 cm		

※ わかりやすく楷書で記入して、作品の右上にクリップで添付してください。

※ 学校名・学校所在地は(郡)市町村立から書いてください。

※ 応募票に記入された作品・対象図書名、および、氏名・学校名・学年は、主催者の刊物やWebサイトに掲載することがありますことをご了解のうえ、ご記入ください。